平成31年度　地域小児医療研修事業について

資料6

○地域の診療所医師を対象として、指定二次救急医療機関（小児科）で小児医療にかかる臨床研修を実施し、区市町村が行う小児初期救急診療事業に参加する医師の確保を図る。
○研修実施医療機関で研修会を開催し、地域で小児救急医療に取り組む医師相互の情報交換・症例報告及び地域医療機関の連携を図る。

＊さらに、診療所の医師及び指定二次救急医療機関（小児科）の医師・看護師を対象とした**「小児救急コース」を新たに設け**、診療所医師の臨床研修・小児初期救急事業への一層の参加を促すとともに、指定二次救急医療機関に従事する職員の小児重症患者への対応力向上を図り、小児救急医療全体の充実を図る。

1　臨床研修

■　地域の診療所医師を対象として、小児科二次救急医療機関等で小児医療にかかる臨床研修を実施（都医師会委託）

ア　受講者の推薦
受講希望者→地区医師会→都医師会

イ　受講者の決定
小児初期未実施地区の受講希望者を優先

ウ　臨床研修実施病院
休日・全夜間診療事業実施医療機関

エ　実施規模
11名、修了要件：12単位（48時間）
※うち0.5単位は右記「3小児救急研修会」と合同開催

2　地域研修会

■　地域の医療機関の連携を図るため研修会開催（都医師会委託）

ア　参加対象
臨床研修受講者、近隣の開業医、臨床研修指定病院の医師等

イ　実施内容
症例報告や小児医学的知見等の情報交換等

ウ　実施規模
10回

3　小児救急研修会

■　小児救急医療を担う人材の掘り起こしや臨床研修の参加を促進する研修を実施（直営）

ア　参加対象
地域の診療所医師

イ　実施内容
小児救急に関する研修、小児初期救急についての講演 など

ウ　実施規模
2回（区部・多摩）

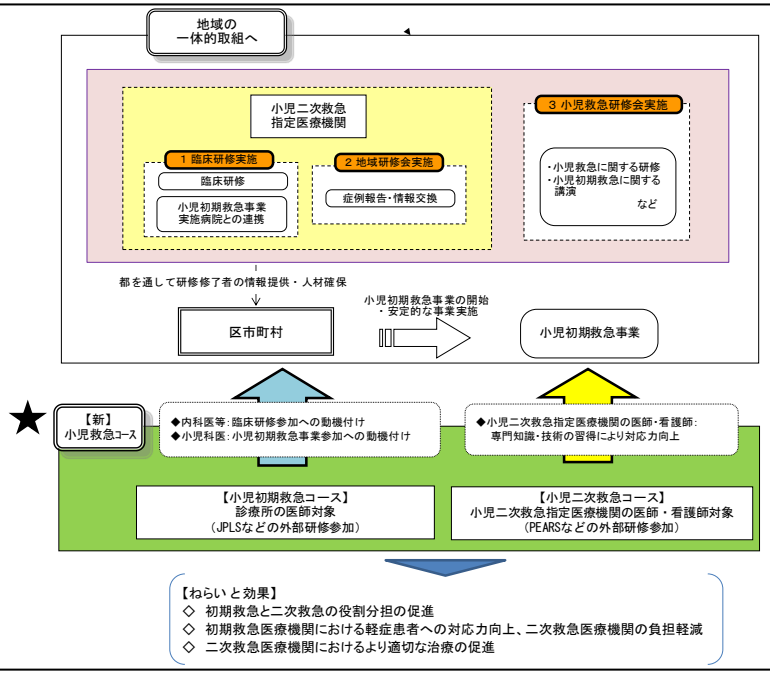
【参考：平成30年度開催状況】
○平成30年9月8日（土）　場所：武蔵野スイングホール
・テーマ「かかりつけ医だからこそできる小児救急初期診療」
・講師：都立小児総合医療センター
救命・集中治療部救命救急科　伊原崇晃先生、朱田博聖先生
○平成31年2月24日（日）＊予定　場所：東京都医師会
・テーマ「こどものケガ・熱傷・誤飲」
・講師：国立成育医療研究センター　総合診療部救急診療科　植松悟子先生

【新】 小児救急コース

◇小児初期救急コース（対象者 ： 地域の診療所医師）

〔対象研修・規模〕
・JPLS（小児診療初期対応コース）：日本小児科学会　　10人
・BLS（一次救命処置コース）：アメリカ心臓協会　　10人
・ITLS　Pediatricコース（病院前外傷救護・小児コース）：ITLS日本支部　10人

◇小児二次救急コース（対象者 ： 指定二次救急医療機関（小児科）の医師又は看護師）

〔対象研修・規模〕
・PEARS（小児救急評価・認識・病態安定化コース）：アメリカ心臓協会　36人
・PALS（小児二次救命処置コース）：アメリカ心臓協会　36人
・トリアージナースコース：日本救急看護学会　18人
・JATEC（外傷初期診療ガイドライン）：日本外傷診療研究機構　18人

＊委託実施を検討